建物名称	：	学生センター
既存建物概要	：	【名称】理学実験棟 【建築年】昭和49年（昭和56年3階一部増築） 【構造・規模】RC造（一部S造）・3階 【建築面積】637㎡　【延べ床面積】1,604㎡
増築棟構造・規模	：	S造・3階
解体面積	：	【建築面積】 71㎡　【延べ床面積】 194㎡
建築面積	：	897㎡（【既存棟】566㎡,【増築棟】331㎡）
延べ床面積	：	2,011㎡（【既存棟】1,400㎡,【増築棟】611㎡）
施工期間	：	2011年9月～2012年7月

整備概要

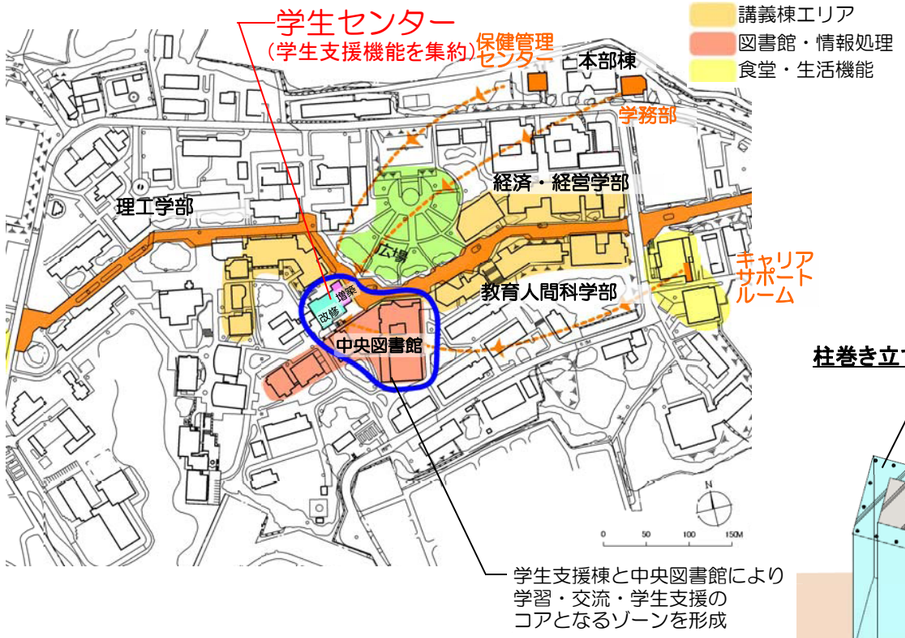
① 常盤台キャンパスを東西に通るメインストリートの中央に位置し、また、中央図書館、中央広場も隣接している。学生支援機能である、保健管理センター、学務部、キャリアサポートセンターを集約し、学習活動・学生支援・学術交流の中心となるゾーンの形成による、大学全体の教育研究活動の活性化を図る施設として、既存建物の改修と一部増築により整備をしました。

② 既存建物は、耐震性が低く建物構造の耐力も低いことから、柱・梁の鉄筋コンクリートによる巻き立て補強、既存コンクリート間仕切壁撤去による荷重の軽減を施し、建物としての安全性の確保を図りました。（Is値0.45→0.7）

③ 既存建物は、建築後36年を経過し、老朽化も著しいため、内外装、建具、電気設備、空調・衛生設備等及び昇降機を全て更新し、建物性能を改善するとともに、執務室床のOAフロア、快適性に配慮したトイレのリニューアル、バリアフリー等、機能の向上を図りました。

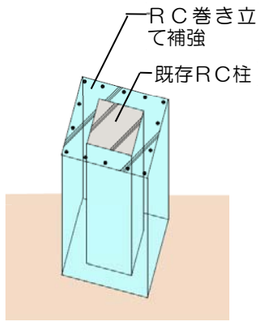
④ 省エネルギー対応として、外壁・屋根の断熱、低反射複層ガラスやLED照明の採用、空調設備の集中リモコンによる制御等、環境へ配慮した整備手法の導入により、年間エネルギー消費量にすると25%の削減効果を実現しました。

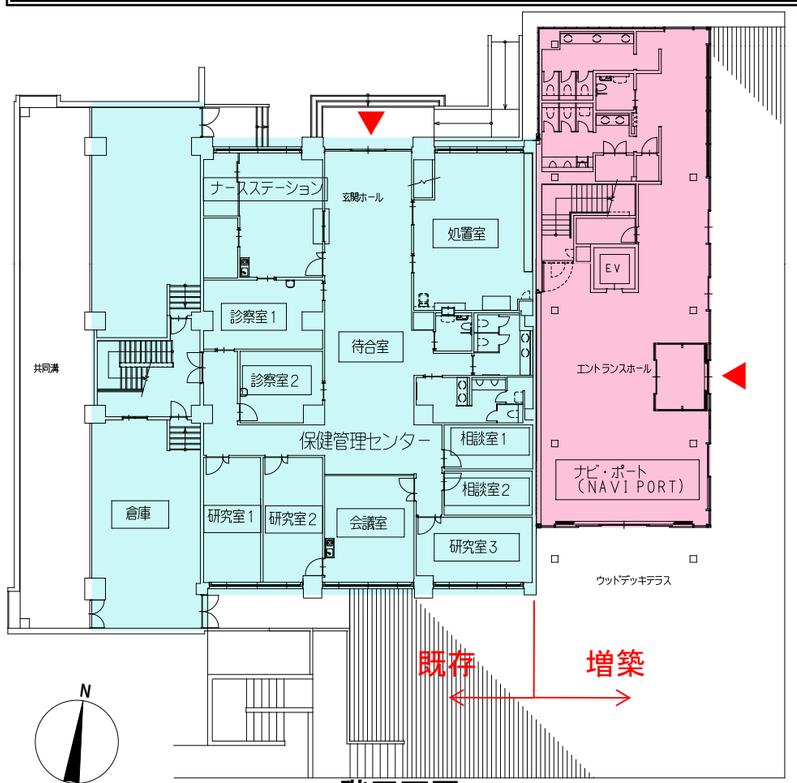
⑤ 増築部には、玄関・エレベーター・階段・トイレ等を配置し、外装はガラスのカーテンウォールとし、隣接の中央図書館の外観デザインと整合させるとともに、中央歩行帯側に解放的な吹き抜けを有するエントランスホールとウッドデッキを設け、コミュニケーションの場として活用できる計画としました。



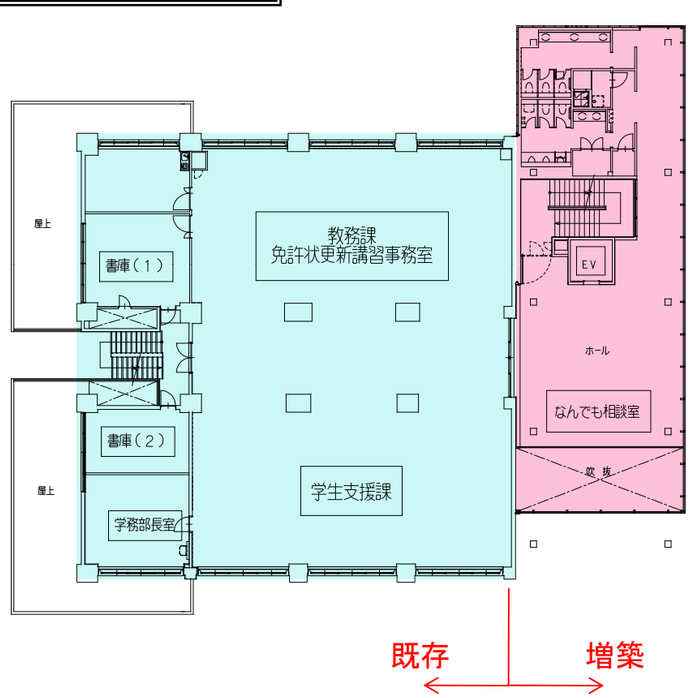
常盤台団地部分配置図

柱巻き立て補強図

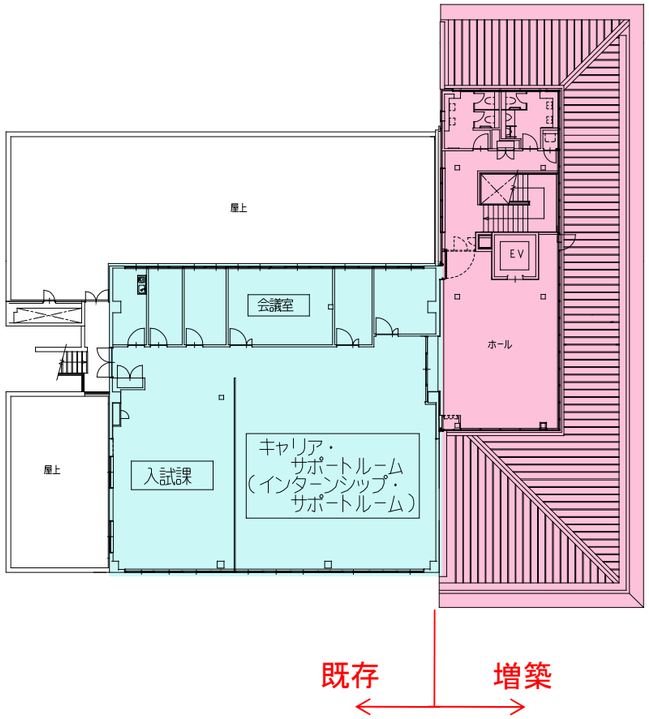




1階平面図



2階平面図



3階平面図

改修前後外観写真

改　修　前 → 改　修　後

東側外観　　東側外観

改修後内観写真

1階保健管理センター玄関ホール

2階学生支援課

2階執務室

3階会議室